

# 読み聞かせにおすすめの絵本リスト(高学年向け)

	題名	著者名	出版社	内容
	花さき山	斎藤隆介 文 滝平二郎 絵	岩崎書店	山菜をとりに行ったあやは、山で出会った山んばから「ふもとの村の人間が、やさしいことをひとつすると、美しい花がひとつ咲く」という話を聞きます。
	もちもちの木	斎藤隆介 文 滝平二郎 絵	岩崎書店	猟師のじさまと二人暮らしの豆太は、5歳になっても、夜中に一人でトイレに行けない臆病者。ある晩、腹痛を起こし、苦しむじさまのために、豆太は……。
	半日村	斎藤隆介 文 滝平二郎 絵	岩崎書店	一日のうち半日しか陽があたらない半日村。その貧しい村に陽をあてようとして、村のつしろにある高い山をける少年の一平……。
	3びきのかわいい おおかみ	ユージーン・トリビザス 文 ヘレン・オクセンバリー 絵 ユージーン・トリビザス 文	富山房	「3びきのこぶた」をすてきにひねった愉快なお話。「…………。きゅうすのなかの おちゃのはが きゅうきゅうさわいだって ぜったいに いれてやるもんか!」
	よかったね ネットくん	レミー・チャーリップ 作 八木田宜子 訳	偕成社	パーティーに出かけたネットくん。次々に襲ってくる災難を乗り越えて…。運が良かったり悪かったり、スリル連続の大冒険。アメリカで爆発的な人気を呼んだ絵本!
	ものぐさトミー	ペーン・デュボア 文・絵 松岡享子 訳	岩波書店	なまけ者のトミーは、電気じかけの家に住んでいます。朝ベッドから起きるのも、お風呂に入るのも、服を着るのも、食べるのも歯をみがくのも、すべて機械じかけ。ところがある嵐の日、
	これはのみのぴこ	谷川俊太郎 作 和田誠 絵	サンリード	「これはのみのぴこ」で始まる詩には、次々にぴこと関係する他の動物や人々がつくわえられて、長い長い文章になっていきます。
	かようびのよる	デヴィッド・ウィーズナー 作・絵 当麻ゆか 訳	徳間書店	それは、とある火曜日の晩の事だった。あたりがすっかり暗くなったころ町外れの池から、蓮の葉に乗ったカエルたちが飛び立って…。
	おおきな木	シェル・シルヴァスタイン 作 村上春樹 訳	あすなる書房	あるところに1本の木があった。木は少年のことが大好きだった。少年も木が大好きだった。しかし、少年が成長するにつれ…。シルヴァスタインの名作絵本が、村上春樹の訳で新登場。
	くわすにようぼう	稲田和子 再話 赤羽末吉 画	福音館書店	「よくはたらいて、めしをくわないにようぼうがほしい。」そんな欲張り男の元に現れた美しい娘。なるほど飯をくわすによく働く…。
	かえるをのんだ ととさん	日野十成 再話 斎藤隆夫 絵	福音館書店	お腹が痛くなったととさん。和尚さんに相談すると「お腹に虫がいるせいだから、蛙をのむといい」と言われます。蛙をのむと腹痛は治まったものの、今度は……。

	ウエズレーの国	ポール・フライシュマン 作 ケビン・ホークス 絵 千葉茂樹 訳	あすなろ書房	ウエズレーは夏休みの自由研究で一念発起。新種の作物を育て、新しい文字や数の数え方を考案、自分だけの特別な文明を創り出し…。
	虫めづる姫ぎみ	森山京 文 村上豊 絵	ポプラ社	毛虫が大好きで、虫集めに夢中の姫は、としごろなのに化粧もまともにせずにあきれられてしまいます。
	じごくのそうべえ	田島征彦 作	童心社	軽業師のそうべえは、つなわたりでバランスを崩し、命を落としてしまいます。冥土へ行く途中で出会った歯抜き師、医者、山伏といっしょに地獄へ送られてしまい…。
	まんじゅうこわい	川端誠 [作]	クレヨンハウス	町内のわかいもんが集まって、何やら話したしたのは、自分たちの嫌いなきものについて。そんな中、松つあんは、みんなのこわいもんは怖くないと威勢のいいことをい出して…。
	100万回生きたねこ	佐野洋子 作・絵	講談社	何度も生まれ変わり、あらゆる時代のいろいろな飼い主に飼われてきたねこは、のらねことして生きたとき、初めて自分を好きになり、他のねこを好きになり…。
	ほしになったりゅうのきば	君島久子 再話 赤羽末吉 画	福音館書店	りゅうのけんかで裂けてしまった天。若者サンは白姫の助けを得、人々の苦難を救いに出かけます。夜空の星の天の川にまつわる壮大な中国民話の世界です。
	八郎	斎藤隆介 作 滝平二郎 画	福音館書店	大男の八郎はなぜ自分の体が小山ほどあるのかわかりません。ところがある日、大波に田畑を流されて泣く百姓を見て…。
	ねぎぼうずのあさたろう	飯野和好 作	福音館書店	あさたろうは、元気のいいネギ坊主。やつがしらのごんべえが稚の実のおようちゃんをいじめているのを見つけ、得意のねぎ汁でやっつけますが…。
	せかいいちおいしいスープ	マーシャ・ブラウン 文・絵 こみやゆう 訳	岩波書店	はらべこの三人の兵隊が、ある村で食べものをわけてほしいとたのみましたが、村人たちは首を横にふるばかり。兵隊たちは、しかたがないので、石のスープをつくるといい出しました!?
	じゅげむ	川端誠 [作]	クレヨンハウス	ある村に男のが生まれました。親は、長生きするおめでたい名前をつけたやりたいと、和尚さんに相談しますが…。
	わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ 作・絵 小川仁央 訳	評論社	もの知りで賢いアナグマは、みんなから頼りにされ慕われていました。でも、年老いたアナグマは、冬のはじめに死んでしまい…。
	しろいうさぎとくろいうさぎ	ガス・ウィリアムズ 文・絵 まつおかきょうこ 訳	福音館書店	森の中で楽しく遊ぶ、2匹の小さなうさぎのお話。くろいうさぎはなぜか、かなしそうな顔で考えごとをしています。そのわけは…。